



たもんじ 2023年9月号 交流農園 便り Vol.66



“てらたま農園部から”

第22回～この夏2回目の寺島なすの販売会～



ールも充分できたと思います。

今回立ち寄ってくれた方に世田谷区の中学校の教員の方がいて、前年度まで在籍していた世田谷区の砧中学校の屋上で寺島なすの栽培をしていたと、スマホで栽培風景の写真を見せて頂きました。砧中学校では2021年頃から栽培を始めたとのこと。

互いに写真を撮り合い、リーフレットや農園便りもお渡ししました。寺島なすも買って下さいました。こんな出会いもあるんですね。

次回の販売会も楽しみです。

8月26日土曜日は、10時半から開始の寺島なすやたもんじ交流農園産の野菜を東向島駅近くで売るため、朝から農園メンバーで作業に勤めました。当日の作業の他に、販売に向けて数日前から寺島なすを収穫し、丁寧に保存をしてくれたメンバーにも感謝です。

寺島なすは育ち過ぎると皮が硬く、種も大きくなってしまい、味も味覚も損ねてしまうため、日々の手入れが大切になります。当日は手塩にかけたなすや葉物類の野菜をテーブルにいっぱい並べると、立派なマルシェになり、時間前から買いに来てくれた地域の方々もいらっしゃいました。寺島なすを目当てで来てくれた人もたくさんいましたけど、通りがかりで寄ってくれた方もいて、たもんじ交流農園や寺島なすのアピ



NEXT STAGE ～次に私がしたいこと～

第4回 須貝利喜夫さん “一日一句”



ハマっていることは「朝活」です。特に今年の暑い夏は朝の活動が1日の中で一番気持ちいい時間でした。5時前に起床し、今日の予定を確認します。早朝散歩とラジオ体操を基本に、時間の余裕を勘案しながら畑通いも楽しんでいます。早朝散歩の中間地点には、こんにやく稲荷神社があり「今日もよろしくお願ひいたします」と参拝、心が落ち着くのが分かります。また散歩しながら一日一句（俳句）を詠んで楽しんでいます。

ゴール地点の吾嬬の里で開催しているラジオ体操では、10分間手を抜かず参加することで（結構な運動量）胃腸の動きが活発になり、朝食をより美味しく頂けています。そして7時過ぎに出勤です。

もうひとつ、この夏にハマっていたことがあります。愛ねこ「ポポ」の介護です。赤ちゃんの時期を除けば一度もトイレを失敗したことがなく、毛繕いにも余念がない、そして気品のあるメスねこでした。ただ18歳が近づき、急に弱ってしまいました。自分でご飯を食べることが出来なくなり、食事のお世話や体拭き、排便、通院と無我夢中の介護でした。夏に生まれ、夏に旅立った「ポポ」との別れは寂しい限りですが、2か月の介護時間は、この夏の大切な思い出になりました。

“愛ねこと 見上げた先に 秋蛍、（すがいポポ）”



今までずっと、ハマってます!

カラフルコネクターズ/ポーンさん(区画1-2 ①)の場合

ちょっと堅苦しい話になりますが、ぼくは30代からずっと、ボランティア活動に『はまって』いて、自分の人生も、そのボランティア活動を通して大きく影響を受けてきました。本格的に関わった最初が1990年代はじめ、アメリカ、サンフランシスコのエイズホスピスでの病院ボランティアでした。エイズがまだ死の病と考えられていた時代のことです。日本に帰国後、大阪、西成区釜ヶ崎(いわゆるドヤ街)の病院でもボランティアを経験しました。そこでの経験がいろいろな出会いを生み、現在の福祉の仕事につながっています。



京都でのボランティア初日



京都での利用者とお風呂屋さんのご主人たちとの団らん

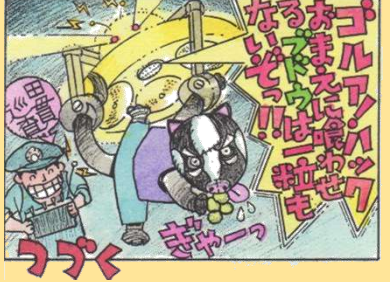
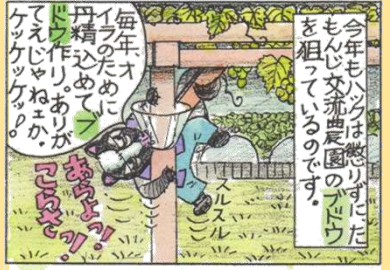
現在は年に数回ですが、京都、東山区で20年以上続けている施浴(せよく=障害児者デイ銭湯)での入浴介助ボランティアを2019年からお手伝いさせてもらっています。障害があるために、一般客とは一緒に銭湯を利用しにくい人が大きなお風呂に浸かって、幸せそうな笑顔になるのを見ると、こちらも幸せな気分になり、新幹線を使ってでも、また「そうだ京都、行こう」と思うようになります。ちなみに、毎回交通費が500円出ています。



御谷湯での入浴介助

東京でも活かしたいと思い、運営している福祉施設が入居している石原三丁目、御谷湯の大旦那、伊藤さんに相談したところ、「自分も以前から同じようなことをやりたいと思っていた」とのお返事。話がとんとんと進み、コロナ禍を経て、今年の5月からまずは高齢者で身体機能の衰えなどで銭湯に来られなくなっていた方を対象とした入浴介助ボランティア会『ふれ愛入浴 in 御谷湯』を地域の方や墨田区社協の協力を得て立ち上げました。今後は障害児者の方の利用も計画しています。ご近所に利用希望の方がいらしたら、ご紹介ください。

仕事はいつまで続けるか分かりませんが、自分の人生を豊かにしてくれたボランティア活動は一生『はまり続ける』のだろうと思っています。

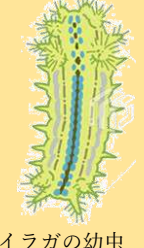


カラフルコネクターズ (NPO法人) 〒130-0011 東京都墨田区石原3丁目30-10 御谷湯 03-6284-1787

シリーズ 業務連絡#23-01 レッドロビン垣根の周りのイラガにご注意!!

異常気象のせいか、農園水場と花壇のレッドロビンにイラガが大発生していますのでお気を付け願います。9/10に垣根を刈り込みしましたが、当分の間、レッドロビン垣根の周りには近づかないようお願いいたします。(特に、お子様には、ご注意願います。)もし刺された場合は、以下を参考に対処願います。

- ① 患部をこすらずにテープなどで毒針を抜く~刺されたあと先ずしていただきたいのは、テープでペタペタしながら皮膚についた毒棘(毒毛)を取り除くことです。テープはセロハンテープでもガムテープでもOKです。
- ② 流水もしくはお湯で患部を洗い流す~毒毛をテープで取り除いたら、流水またはお湯で患部をよく洗い流します。毒液が皮膚についているため、石鹸で洗うとより効果的です。
- ③ 虫さされに効く軟膏をぬる~痒みを引き起こすヒスタミンの働きを抑える抗ヒスタミン軟膏を患部に塗っておきましょう。



イラガの幼虫

水口アドバイザーご指導日: 9/24(日) 10/8(日) 10:00~15:00 農園部作業日: 毎週日曜 9:00~



たもんじ交流農園便り
No.66 般 2023.9.19 発行
題字 田村風来門
編集 末林和之



てらたま協議会
(NPO法人 寺島・玉ノ井まちづくり協議会)
問い合わせ先 小川 剛(080-3421-3115)
セブン-イレブン記念財団 (2018年2020年に助成金を頂きました)

